

第 8 回 伊勢湾漁業影響調査委員会 議事要旨

1. 開催日時：平成 29 年 2 月 15 日 10:00～12:00
2. 場 所：TKP ガ-テンシティ-名古屋新幹線口 カンファレンスホール 8A
3. 審議内容：伊勢湾シミュレーターを用いた流れや水質の変化に伴う
影響の予測評価について
重要漁業生物の生息場消失による影響の予測評価について

4. 委員の発言要旨

- 水温 10℃以下における動物プランクトンの補食速度に関するモデルの補正は、今後の予測計算の結果にも大きく関わってくる話であるため、根拠も含め設定の妥当性について検討を深めるべき。
- 餌料である動物プランクトンが候補地周辺に偏在する傾向を分析するため、伊勢湾全体の空間的な分布の再現結果を示すべき。
- 動物プランクトンの摂餌量や現存量を踏まえると、動物プランクトンの生産量がかかなり高くないと整合が図れないと考えられるが、こうした傾向を解析するためにも、動物プランクトンの生産量について再現結果を示すべき。
- モデルにおける炭素クロロフィル a 比は一定値としているが、計算値と観測値との開きの傾向が時期や場所によって異なることを踏まえ、その適用について検討をお願いしたい。
- 植物プランクトンから動物プランクトン、魚類等への連鎖が、再現計算において妥当であることが判断できるような結果の整理をお願いしたい。
- 外洋水の底層侵入に関する境界条件の設定については、補間処理方法など再検討すること。

以上